

2016年度 企業の森づくり入門講座 実施報告

企業と生物多様性イニシアティブ
(JBIB) いきもの共生森づくりWG

<実施概要>

生物多様性に配慮した企業の森づくりを目指す方々に、実践的な知識・技術を身に付けていただくことを目的とし、JBIBいきもの共生森づくりWGが西部丘陵パートナーズと連携して企画し、第1回「企業の森づくり入門講座」を開催しました。

今回は、JBIB会員企業からの受講者13社14名、WGメンバー 5社6名、西武・狭山丘陵パートナーズ 5名が参加しました。

<講座内容>

◆事前ガイダンス（会場：リコー本社）

9月27日

企業にとっての森づくり、森づくりの基礎知識

◆本講座（会場：東京都立野山北・六道山公園）

9月30日（1日目）

森づくりコンセプトワーク

（森の観察、植生調査、計画づくり・発表）

10月1日（2日目）

里山保全のレクチャー、実作業ワーク、
雑木林を生かす活動のレクチャーまとめ、
修了証授与

< 事前ガイダンス 9月27日 >

- ・「いきもの共生森づくりガイドラインβ版」に基づき、「森づくり関係性マップ」を使用したワークショップにより自社事業と森との関係の理解を深めました。
- ・講座開始にあたり、森の基礎知識や、実習地（狭山丘陵や野山北・六道山公園）に関する知識を習得しました。



講座テキスト

JBIB原口顧問
の挨拶



森の基礎知識に関する講座



ガイドラインを使用したワークショップ

< 本講座1日目 9月30日 >

- ・グループ毎に、実際の森で専門家の指導に基づく植生調査、毎木調査を実施しました。



ただいま
調査中



昼食は地元の「かてうどん」

- ・調査の結果をベースに、グループワークにより「森づくり計画」を作成し、発表しました。



グループに分かれて「森づくり計画」を作成



発表し参加者で共有

・森づくりの基本作業である安全管理、道具の使い方のポイントを学び、グループに分かれて森で笹刈りを実践しました。



・ボランティアなど協働で雑木林の手入れを行っている里山民家の事例を見学し、森の生物多様性や森づくりの実際の運営方法や成果を学びました。

・3日間のまとめと参加者による行動宣言



参加者ひとりひとりが「企業と森の可能性」について発表



講師によるコメント

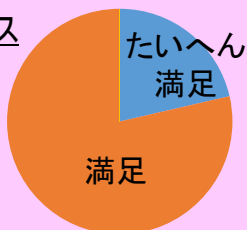


＜ まとめ ＞

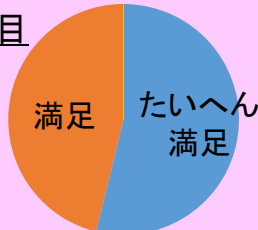
◆参加者へのアンケート

全員が「満足」または「たいへん満足」と回答し、また、講座を重ねるにつれて満足度があがったことが分かりました。

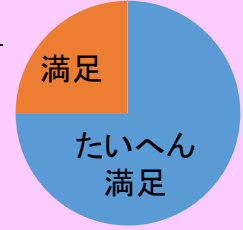
事前ガイダンス



本講座1日目



本講座2日目



◆参加者の感想

「森づくり関係性マップ」ワークショップは、改めて自社を考える時間ができ良かった。

里山って、森ってこういうことだったんだ！ということが自分の中で腑に落ちた。

大変参考になる情報が多かったです。地元及び会社を持ち帰ってCSR活動に活用したい。



森への思いを形にする「コンセプトワーク(森づくり計画作成)」が大変参考になった。

東京都心から近くにこれだけ豊かな里山があることが驚き。そしてこの場所で里山の豊かさを実感できたことが良かった。公園の運営なども大変参考になった。

《 《 いきもの共生森づくりワーキングとしての今後の展開 》 》

半数以上の参加者が、他のメンバーに参加を勧めたいと回答しており、またステップアップ講座への期待も高いので、今後WGの中で内容の見直しを含め来年度以降の活動につなげていきます。